

	課題分析	授業改善策	改善状況
国語	<p>○1 学期末に実施したアンケートにおいて、家庭学習や宿題、提出物については25%、授業中の発言やノートについては32%の生徒が十分に取り組めていないと回答しているので、主体的に学習に取り組む姿勢や習慣をさらに定着させるための指導を更に工夫することが課題である。</p> <p>また、習った知識や技能を普段の生活に活用しているかという問いについては35%の生徒が十分に取り組めていないと回答しているので、自分のこととして学習に取り組み、学習を通して自分の人生を豊かなものにしていくという意識を高めさせていく指導をさらに工夫したい。</p> <p>○授業における指導については、「何を学ぶかがはっきり分かりやる気がわいてくる」という項目に対して、満足していると回答した生徒が73%にとどまっていたので、毎時ごとに学習目標を明示していく。</p> <p>また、「興味や関心を持って考えが深まる」については83%、「説明がていねいで理解が深まる」については88%、「板書がていねいでノートが取りやすい」については84%、「先生の熱意や工夫が伝わる」については86%の生徒が満足していると回答しているが、すべての生徒が満足できることを目標に更に充実した指導を工夫し実践していくことが課題である。</p>	<p>○自律的な生活、主体的な学び、知的好奇心、感受性、思考力、教養、豊かな心、知識、知恵、判断力、行動力…言葉を豊かに使いこなすことの必要性を十分に認識させ、意欲を高めさせ、努力を積み重ねられる力を身につけさせるための工夫を惜しまず、指導力・授業力を高める努力を重ねていく。</p> <p>○段階的な発問を工夫し、成功体験を繰り返し味わわせ、達成感や充実感を体験させることで、興味関心を広く深いものにして、学習意欲を高めさせる。</p> <p>○毎時の授業において、開始時には本時の学習目標を確認させ、終了時には振り返りメモを記入させ、授業内容の定着を図る。</p> <p>○授業の開始時に、前時のノートを確認させて学習内容の復習をするとともに、自分のノートの充実度や有効性を実感させてより良いノート作りへの意欲を高めさせる。</p> <p>○授業終了前にも同様に本時のノートを確認させながら本時の振り返りを行う。</p> <p>○漢字、語彙、基本的な文法など読解に必要な技能を繰り返し学習させ、文字情報を確実に処理して著者の思いを理解し、自分の思いを深める指導を工夫していく。</p> <p>○どの文章についても、述語を確実に読み取り、主語を押さえ、修飾関係を把握して文意を的確に捉える指導を徹底する。</p> <p>○作文指導については、書く前に「テーマ・主張」を明確にし、「材料・話題」を集め、「構成」を考えて、メモを作成するという手順を繰り返し練習させて成功体験を味わわせ、苦手意識を払拭させる。アンケートの自由回答の中にも、「作文がうまく書けるようになった」という回答が数名あった。</p> <p>○提出物等の返却時にはできるだけコメントを記入し、表現して伝え合う楽しさを体感させて、意欲を高めることにつなげたい。また、文字を濃く、大きく、ていねいに書くということも、繰り返し指導していく。またそのためにも、筆記具の持ち方や姿勢についても繰り返し指導していく。</p>	

社会	<p>○基礎的基本的な知識の定着度に差が見られる。</p> <p>○個人で思考したことを、対話的な学習を通して深めていくことに課題がある。</p>	<p>○授業の最初に、前時の復習を、パワーポイント等を活用して行う。問題集を活用し、定期的に提出させて基礎・基本の定着を図る。</p> <p>○「主体的・対話的で深い学び」を目指し、小グループでの話し合いでは、個人の意見を発表して終わるのではなく、ファシリテーターの生徒を育てることで思考を深めることを意識する。</p>	
数学	<p>○授業中に「考え方を正しく理解すること」ができていながらもかかわらず、計算などのミスが多い生徒や、次の授業までには考え方を忘れてしまっている生徒が多い。</p> <p>○思考・判断・表現を要する問題に関しては、既習事項とのつながりや考え方に、苦手意識をもつ生徒が増えてきている。</p>	<p>○授業時間内で演習問題に取り組む時間を長めに設定できるよう授業を展開する。また計算などに時間のかかる生徒には、大きな負担にならないような課題の出し方を考え、どの生徒も困らずに努力次第で授業内容をケアできて、実力アップできるよう支援していく。</p> <p>○必要に応じて話し合い活動を取り入れるなどして、問題の整理、焦点化を行うことで、考えやすい環境をつくる。</p>	
理科	<p>○発言も多く、理科に対して興味をもち、意欲的に学習できているが、学習した内容を利用し、発展的な思考が持てない生徒が多く見られる。</p> <p>○表やグラフ等から分析することに苦手意識をもっている。</p>	<p>○各項目の学習後に小テスト等を行い、基礎的な学力を確実に定着させることで、発展的な内容へ自ら取り組める糸口をつくっていく。</p> <p>○表やグラフの見方を丁寧に指導していくとともに演習を数多く行い、取り組みやすいよう支援していく。</p>	
音楽	<p>○授業中、積極的に取り組む生徒が多い。小学校では、合唱等の経験が少なかったので、歌唱する機会を増やすことが課題である。</p> <p>○鑑賞活動にも意欲的に取り組んでいるので、音楽的語彙を増やすことが課題である。</p>	<p>○発達段階を考慮しながら、少しずつ混声合唱に取り組み、仲間と演奏する楽しみが感じられるような授業づくりをする。</p> <p>○他学年と歌唱をする機会を増やし、合唱の楽しみを感じられるようにする。</p> <p>○実技の技能向上や音楽的語彙力、音楽表現力を育てるために、多様な音楽に触れさせ、耳を育てていく。</p>	
美術	<p>○何を目標に活動するのかを意識せず、ただ何となく制作している様子がある。</p> <p>○積極的で、作品をよくしようという意欲は感じられるが、自分で考えて表現方法を模索したり、試行錯誤したりする力が弱いと感じた。</p>	<p>○課題のねらいや、どのような力を養いたいのかを明確にし、それが伝わりやすい授業づくりを行いたい。生徒が意欲的に活動できるように有効な発問や活動形態を考える必要がある。</p> <p>○制作において考えたことを記述する課題を増やし、生徒の考えを可視化する。また、生徒が試行錯誤しやすいように、技術や知識の習得を充実したものにする必要がある。制作活動の間には互いに見合い、話し合う時間を設ける。</p>	

保健体育	<p>○体を動かして楽しむことができる生徒が多いが、協調性（集団行動・話を聞く態度・仲間の意見を受け入れる姿勢など）に欠ける生徒も多い。</p> <p>○体を動かすことや運動（スポーツ）に取り組むことが少ない生徒が多くなってきているため、知識・理解や技能に差が出る場面が見られる。</p> <p>○自己表現に課題があり、思考力・判断力・表現力に繋がる基礎を身に付ける必要がある。</p>	<p>○グループ活動を多く取り入れ、運動時間の確保をしながら、様々な人と関わって仲間を受け入れる機会を増やす。</p> <p>○学習カードを利用して、単元ごとに必ず、知識の確認と理解をさせてから、運動活動を行うようにし、協働学習しながら、深い学びに繋げる。</p> <p>○学びの定着を目指し、特性に触れた反復的な技能実践と応用的な活動を混ぜながら、学び合い活動を楽しむことができる場面を増やす。</p>	
技術家庭	<p><b>【技術】</b></p> <p>○作品制作に対する意欲があるが、身につけたい知識や技能の向上に個人差が大きい。</p> <p><b>【家庭】</b></p> <p>○栄養に関する基礎学習に対し意欲的に取り組んだ。その技能を、日常の生活に主体的に取り入れられていない。</p>	<p><b>【技術】</b></p> <p>○作業内容を細分化し、目標を視覚化して生徒とともに確認して進める。</p> <p><b>【家庭】</b></p> <p>○既習内容を活用しながら、授業での問いかけを工夫して実践に繋がられるよう意識的に場面を増やす。</p>	
外国語	<p>○英語の基本的能力は高く、並べ替え問題や選択肢問題では高い正答率を示すが、英作文や英単語ではスペルミスが顕著に目立つ。</p> <p>○会話文形式では流暢に発話することができるが、言語材料にフォーカスした際に何をどのように言うかが不安定である。</p>	<p>○英単語の発音や意味だけでなく、スペルのチェックに費やす頻度や定着を促すような工夫を取り入れる。</p> <p>○単元テストをその単元のすぐ後に行うだけでなく、期間が空いてから復習として触れる機会を設ける。</p>	